

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 6 年 2 月 9 日
高 松 地 方 気 象 台

高松地方気象台における目視観測通報を自動化します

これまで高松地方気象台では、気温、風、降水量、日照などを自動で観測するとともに、職員が目視により晴れ、曇り、雨、雪、霧などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測してきました。

近年、気象レーダーや気象衛星観測などを活用した総合的な大気の把握が可能となるリモートセンシング技術の進展を踏まえ、高松地方気象台における目視観測通報を自動化します。

1 変更予定日

令和 6 年 3 月 26 日（火）

2 対象となる気象台

高松地方気象台

※徳島、松山、高知の各地方気象台は令和 2 年 2 月 3 日に目視観測通報を自動化しています。

3 変更点等

別紙のとおり

本件に関する問い合わせ先

高松地方気象台 観測予報管理官室（江良）

電話番号 087-826-6123

高松地方気象台における目視観測通報の自動化について

高松地方気象台では、これまで気温、風、降水量、日照などを自動で観測するとともに、職員が目視による晴れ、曇り、雨、雪、霧などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測し、毎日定められた時間に気象観測通報として発信してきました。

近年、気象レーダーや気象衛星観測などを活用した、総合的な大気の把握が可能となるリモートセンシング技術が進展しています。

これを踏まえ、観測のあり方について見直しを図った結果、令和6年3月26日（予定）から、以下の通り、通報のために職員が目視により行っている観測を自動観測へ移行するとともに、一部の大気現象の観測を終了します。

■ 自動観測に移行する観測種目

・次の天気や大気現象については職員による目視観測から自動観測に移行します。

晴、曇、雨、雪、みぞれ、霧、もや、煙霧

- ・視程は、新たに設置する視程計を用いた自動観測に移行します。
- ・雷は、職員が目視や聴音により観測していましたが、雷監視システム（LIDEN）と気象レーダーのデータを用いた自動観測に移行します。

■ 観測を終了するもの

・天気

快晴、薄曇

・大気現象

現象の分類	観測を終了する大気現象
大気水象	雪あられ、氷あられ、ひょう、細氷、凍雨、霧雪、着氷性の雨、ふぶき、しぶき、霜 ^(注) 、結氷 ^(注) 、竜巻、積雪、冠雪 ^(注)
大気じん象	黄砂、煙、降灰、風じん、砂じん嵐、じん旋風
大気光象	かさ、光冠、彩雲、にじ
大気電気象	電光、雷鳴

(注) 寒候年（前年8月～当年7月）に初めて観測する霜、結氷、冠雪は従来どおり、初霜、初氷、初冠雪として記録します。

・雲

雲量、雲形